

令和2年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要  
畜産部門

「都府県型放牧酪農」による牛と人にやさしい高位安定経営

○氏名又は名称 佐々木 剛・佐々木 千尋

○所在地 静岡県富士宮市

○出品財 経営（酪農）

○受賞理由

・地域の概要

富士宮市は、静岡県の東部に位置し、東に富士山を望む。茶、野菜、果樹、花きなどの生産が盛んで、農家戸数は1,015戸。そのうち酪農家戸数は68戸で6,250頭の乳牛を飼養しており、静岡県酪農の中心地である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

佐々木剛氏は、昭和35年設立の富士丸西牧場の3代目であり、平成17年に経営を移譲された。カウコンフォートを重視した都府県型酪農経営を進め、年間の1頭当たり平均乳量10,000kg以上の生産を15年以上継続している。生乳は、専務取締役として経営に参加する（株）富士の国乳業を通じて富士地区80校の学校給食向けに供給している。また、飼料コントラクター（収穫作業、土壌改良工事等の受託組織）を設立・運営すると同時に、地域の食育活動にも取り組んでおり、畜産振興に邁進している。

・受賞者の特色

（1）カウコンフォートに配慮した都府県型放牧酪農

107頭の牛から高品質な生乳を年間約1千t生産する優良経営であり、放牧を上手に活用し、快適な牛舎内でのきめ細かな飼養管理により牛のストレスを制御して穏やかな牛群を作り、牛による作業事故5年間ゼロを達成している。

（2）安心して働ける職場環境

家族、従業員の牧場内での作業分担が明確化され、各種作業のマニュアルの整備等も図られている。小さな事故に対しても情報共有がなされ、業務の改善に活かされている。また、従業員に対しては働きやすい環境作りを進めている。労働1日8時間以内を徹底するとともに、1人1休憩室やシャワールーム等の整備、各種休暇、昇給・賞与、11種の手当など、ゆとりのある労働と充実した賞与・福利厚生に取り組んでいる。

（3）女性の活躍

千尋氏は、剛氏の共同経営者の役割を担うほか、静岡県農山漁村ときめき女性会員として活躍し、地域の学校行事や地区行事運営に参加するなど幅広く活動している。

・普及性と今後の発展方向

乳質・乳量のみならず放牧に適した牛の改良や、堆肥をフル活用した計画的な草地管理、良質なサイレージの生産技術、1頭1頭を良く観察したきめ細かな牛の飼養技術などに立脚した高位安定経営は、理想的な都府県型放牧酪農経営モデルと評価できる。今後、（株）富士の国乳業を通じた消費者からの信頼に基づく、経営の発展や更なる地域貢献も期待される。